

大島商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	航海学演習
科目基礎情報					
科目番号	0219		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	大島丸実習ノート/キャリアデザインノート/配布資料/レーダ観測者用レーダ・自動衝突予防援助装置シミュレータ講習用教本				
担当教員	千葉 元,久保田 崇,木村 宏安,前畑 航平,森脇 千春,村田 光明,岩崎 寛希,中村 泰裕,浦田 数馬				
到達目標					
1. 航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得する。 2. 船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得する。 3. 航海士という職業について広く理解し、また航海士・社会人として必要な一般的な素養やキャリアについて理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得することができる。	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得することができる。	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得できない。		
評価項目2	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得することができる。	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得することができる。	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得できない。		
評価項目3	航海士という職業について広く理解し、また航海士・社会人に必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる。	航海士という職業について広く理解し、また航海士・社会人に必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる。	航海士という職業について広く理解し、また航海士・社会人に必要な一般的な素養やキャリアを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	航海士として必要な技能および技術、特に船橋内における航海計器を中心に習得する。 3年までに得た航海士についての基礎知識をよりプロフェッショナルに近づけるために、現時点で自分に足りない素養を知り、そのための知識を補う				
授業の進め方・方法	実習及び演習を主体とする。 相互評価に「実技」等を含める。 ポートフォリオに「課題」等の評価物を含む。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、実験実習指導書、大島丸実習ノート、配布資料、関数電卓を持参すること。</li> <li>・安全について十分に配慮すること。</li> <li>・必要な場合は作業服、安全靴、帽子を着用してくること。(担当教員に事前に確認する事)</li> </ul>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	航海学演習概説 レーダ講習 (1)	航海系の免許講習の内容や意義について理解できる レーダの原理を理解できる	
	2週	レーダ・ARPA講習I (1) 航海計器準備 (1)	レーダプロットingの意義と速力三角形について理解できる 船橋内の航海計器の起動・準備が実施できる		
	3週	レーダ・ARPA講習I (1) 航海計器準備 (1)	レーダプロットingの意義と速力三角形について理解できる 船橋内の航海計器の起動・準備が実施できる		
	4週	レーダ・ARPA講習I (2) 航海計器準備 (2)	レーダプロットing用具を使用し、レーダプロットingを実施できる 船橋内の航海計器の設定・操作が実施できる		
	5週	レーダ・ARPA講習I (2) 航海計器準備 (2)	レーダプロットing用具を使用し、レーダプロットingを実施できる 船橋内の航海計器の設定・操作が実施できる		
	6週	レーダ・ARPA講習II (1) 航海学演習I (1)	レーダプロットing実施上の注意事項を理解できる 航海士および海運界について広く理解し、説明することができる		
	7週	レーダ・ARPA講習II (1) 航海学演習I (1)	レーダプロットing実施上の注意事項を理解できる 航海士という職業について広く理解し、説明することができる		
	8週	航海学演習II (1)	航海士・社会人として必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる		
	2ndQ	9週	前期中間試験		
	10週	レーダ・ARPA講習II (2) 航海学演習I (2)	レーダプロットingから得られた情報の解析を実施できる 航海士および海運界について広く理解し、説明することができる		
	11週	レーダ・ARPA講習II (2) 航海学演習I (2)	レーダプロットingから得られた情報の解析を実施できる 航海士および海運界について広く理解し、説明することができる		
	12週	航海学演習II (2)	航海士・社会人として必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる		
	13週	レーダ講習 (2)	レーダの構造・構成を理解できる		

	14週	レーダ講習（3）	レーダの各部名称と機能を理解できる
	15週	レーダ講習（4）	レーダの指示方式・探知能力を理解できる
	16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0